

第4章 計画の推進にあたって

1 計画の推進と進捗管理

(1) 計画の推進と進捗管理・評価

本計画は、本市をはじめとして、市民・企業・スポーツ関係団体等さまざまな主体が協働することにより推進します。

進捗管理は、定期的に現地におけるモニタリング・市民向けアンケート調査等を実施し、事業の進捗管理や達成度の点検、成果の検証を行うとともに、必要に応じて計画や目標を見直す等、進捗状況に応じて、計画の改善を図ります。

また、市長の附属機関である本市スポーツ推進審議会に毎年度、進捗状況を報告し、適切な評価を行います。なお、本計画の進捗状況は、ホームページ等で随時公表し、市民や関係団体等の意見を施策へ反映する環境を整備します。

(2) 計画における数値目標

項目	平成 29 年度実績	平成 35 年度目標
① 小中学生の過去 1 年間の運動・スポーツの非実施者の割合 ※健康状態等によりスポーツを実施することが困難な人に配慮した割合とする。	小学生 11.13% 中学生 7.51%	0%
② 小中学生の体力合計点(小中男女合計平均) ※体力合計点は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における、体力テスト各種目の合計得点小5、中2の男女別の得点を平均する。	本市平均 50.15 点 長野県平均 50.89 点	52 点
③ 成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	60.4%	65%
④ 本市チャレンジデーへの参加率	61.5%	63%
⑤ 60 歳以上の週 1 回以上のスポーツ実施率	68.6%	70%
⑥ 障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツ参加機会の充実	中間で進捗を把握し、適切な目標を設定します。	
⑦ 運動・スポーツ等身体を動かすことが好きな市民の割合	73.7%	80%
⑧ ボッチャの普及 ※「ボッチャ」の常設コート数	2 箇所	6 箇所
⑨ 湯の丸高原スポーツ交流施設利用者の市内宿泊数	0 泊	10,000 泊
⑩ 全国大会に出場する個人・団体の数	26 人・団体	40 人・団体

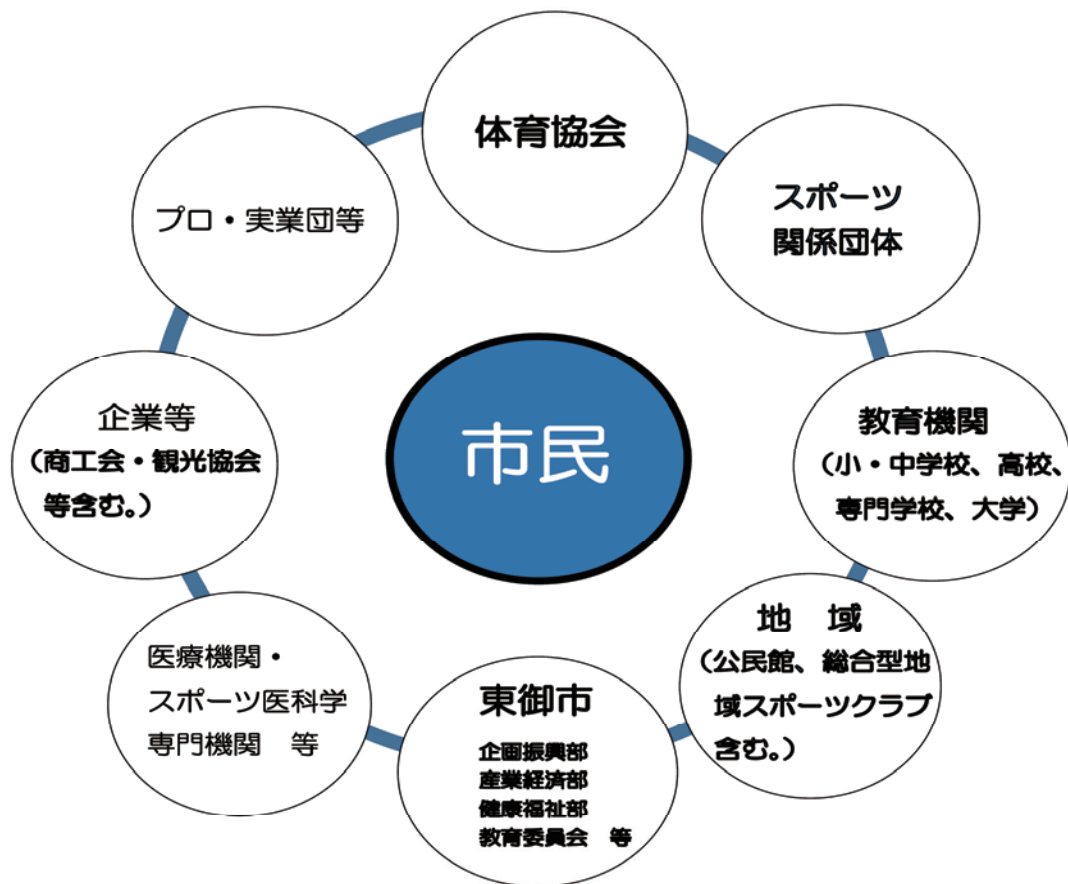
2 施策の推進体制と役割

(1) 推進体制について

基本理念の実現に向けて、本計画を着実に推進するためには、市民のスポーツ参画人口の拡大、共生社会の実現、健康増進、郷土への愛着の醸成や地域経済の活性化等につながるスポーツに関する施策を総合的、体系的かつ戦略的に推進することが求められています。

また、本市を取り巻くスポーツ環境の変化や多様化するニーズに的確に応えるためには、行政の取組みだけでなく地域住民との協働が欠かせません。地域の中で、市民の皆さまをはじめ、地域、学校、スポーツ関係団体、民間企業、体育協会及び市が、それぞれの役割や責任を踏まえ、相互に尊重した関係のもと連携・協働をして、計画の実現を目指します。

図表 計画の実現に向けた連携・協働体制



(2) 計画の実現を担う皆さんへの期待

① 市民

スポーツ活動に積極的に取組まれることを期待します。なお、スポーツを「する」だけでなく、ボランティア等の「ささえる」活動や、スポーツを通じた交流活動への積極的な参加もお願いします。

② 体育協会

自主事業としてのスポーツ大会・スポーツ教室の開催により、競技力の向上、交流人口の拡大、スポーツの習慣化等につながるような事業推進を期待します。

また、指導者の育成・強化、指導者の派遣、スポーツ情報の提供等市民がスポーツに親しめる環境の整備を期待します。

③ スポーツ関係団体（スポーツ推進委員、スポーツ少年団含む）

市・事業者等と連携し、市民のスポーツに親しむ機会の創出、競技力の向上やスポーツの持つ魅力の発信が求められます。

また、多様なニーズに対応するための知識や技術の習得に努めていただくとともに、団体間の連携を図り、地域スポーツ振興の推進役、行政と市民のつなぎ役としてスポーツへの興味が薄い人へ動機付けや、スポーツの楽しみ方の啓発等を期待します。

④ 教育機関（小・中学校、高校、専門学校）

小・中学校においては、児童・生徒の体力向上や運動機会を確保するため、学校体育、運動部活動の充実を図るとともに、運動意欲を喚起し生涯スポーツへのきっかけ作りを期待します。また、学校体育施設の開放を促進し、市民がより身近にスポーツ活動に親しめる場の提供が求められます。

高校、専門学校においては、スポーツ教室、スポーツ大会等への積極的なボランティア参加をお願いし、地域に関わることを自らの経験、学びの機会として捉え、専門性を活かしたスポーツ振興への貢献を期待しています。

⑤ 区・公民館・育成会・PTA・地域づくりの会等

地域のスポーツやレクリエーション環境の充実を図り、人々の地域活動への参加意欲を高めるため、公民館や学校PTAを中心としたスポーツ行事への積極的な参加をお願いします。

⑥ 医療機関・スポーツ医科学専門機関等

専門分野での競技者の支援やスポーツ医科学の理論に基づいた知識の伝達・普及に向けた協力・支援を期待します。

なお、しんたいは、保健・福祉・医療・教育・スポーツをはじめ多分野での横断的な調査研究・教育啓発・人材育成等の活動に取り組んでおり、地域密着のシンクタンクとして、各種事業や関係団体、外部専門機関等をつなぐ要の役割として期待しています。

⑦ 企業等

従業員の健康保持増進に向けた定期的なスポーツの実施及びスポーツの習慣化への取組みを期待します。

また、トップレベル選手の育成・支援、市民スポーツへの資金的な支援及び地域への指導者・トレーナーの派遣等、企業が保有する人材、情報、施設などの資源を地域のために活用して頂けることを期待します。

⑧ プロ・実業団等

湯の丸高原で合宿をするアスリートとの交流は、「みる」「ささえる」スポーツとして市民に活力・夢・感動を与える機会となります。市民との積極的な交流を期待します。

(3) 各分野における市役所関係部局間の連携

本計画の基本理念「スポーツにあふれた、活力と魅力あるまちづくり」の実現に向け、企画振興部文化・スポーツ振興室を中心として、本計画を具体的に進めるための行動計画を作成します。そのうえで、庁内関係部局の横断的な連携はもとより、関係団体等との連携、協働体制を一層強化した施策展開を図ります。

① 教育分野

教育委員会教育課、生涯学習課との連携を密にし、子どもたちの心身の健全な育成を図り、実践だけでなくスポーツに対する多様な関係のあり方も学習し、生涯スポーツの推進につなげます。

また、学校体育や既存の運動部活動だけでなく、新しい地域スポーツのあり方を検討する中で、地域、スポーツ関係団体とも連携し、子ども達がやりたいスポーツを楽しめる環境の構築に向け取組んでいきます。また、トップレベルの選手とのふれあいや指導の機会を創出することで、スポーツの高みを目指す動機付けとスポーツに親しむ・楽しむ・好きになる環境を充実させます。

② 経済・観光分野

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、水泳・陸上長距離種目を中心とした日本強化チーム及びホストタウンであるモルドバ共和国の事前強化・調整合宿地として、地域づくり・移住定住支援室とも連携し、本市の魅力をアピールする絶好の機会です。

都心からのアクセスの良さ、湯の丸高原、標高差、晴天率の良さ、巨峰・胡桃をはじめとする特産物、ワイン、温泉等の強みを最大限に活かし、商工観光課、農林課との連携から宿泊業者、商工会、観光団体等との協働でスポーツツーリズムを展開し地域経済の活性化へつなげます。

なお、スポーツコミッションによるスポーツ合宿・イベントの誘致、実施及び支援を通じて多くの人を外から誘うことで、交流人口の拡大、シティープロモーション効果、ブランド化、更なる集客増加の好循環を生み出し地域経済の活性化へとつなげます。

③ 健康・福祉分野

乳幼児期の運動、保育・幼児教育の現場における運動遊びの習慣化や信州型自然保育の取り組みにおいて子育て支援課との連携を密にして就学までのスポーツの土台づくりを図ります。

青壮年期のスポーツ活動の推進にあたっては、健康保健課、生涯学習課（公民館含む）と一層連携を深め、働き盛り・子育て世代がスポーツに親しめる環境づくり、スポーツ活動へのきっかけづくりと習慣化を推進します。

高齢者、障がい者が身近にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、福祉課との連携により、ウォーキングやヨガ、健康体操等、誰もが自分のペースで取組めるスポーツの機会を充実させ、習慣化を図ることで心身の健康づくりを推進します。

また、福祉課との連携においては、「みんなの健康×スポーツ実行委員会」との連携を中心に、障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツの充実に積極的に取組み、スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくりを推進します。